



平成 28 年 7 月号 (第 242 号)

特集

平成 27 年度に愛知県内で実施した環境調査結果をお知らせします P2~4

県民の健康を保護するとともに、生活環境を保全するため、大気や水質の状況等を調査しています。

今回は、平成 27 年度の調査結果の概要をお知らせします。



その他 環境情報が満載 P4~12



環境保全関係功労者表彰式を開催しました



夏休み環境学習講座を開催します

「県庁さわやかエコスタイルキャンペーン」を実施しています (10 月 31 日まで)
軽装・ノーネクタイでの執務について皆様のご理解をお願いいたします



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



§1 大気汚染調査結果について

大気汚染防止法第22条に基づき、愛知県は、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市とともに、微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染状況の常時監視及びベンゼン等の有害大気汚染物質のモニタリングを行っています。

平成27年度の調査結果の概要は次のとおりです。

1 大気汚染常時監視結果

微小粒子状物質等6物質のうち、二酸化硫黄、二酸化窒素及び一酸化炭素については26年度と同様に全局で環境基準を達成しました。また、浮遊粒子状物質は86局中85局(26年度は全局)で、微小粒子状物質は55局中48局(26年度は52局中12局)で達成しました。なお、光化学オキシダントは26年度と同様に全局で達成しませんでした。

環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	22	3	62	23
達成測定局数	22	3	62	23
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	7	63	23
達成測定局数	2	7	62	23
環境基準達成率	100%	100%	98%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	11	40	15
達成測定局数	0	0	35	13
環境基準達成率	0%	0%	88%	87%

(注1)一般局は一般環境大気測定局のことで、自排局は自動車排出ガス測定局のことで。

(注2)環境基準達成率は、「(達成測定局数/有効測定局数)×100(%)」で示しています。

2 有害大気汚染物質モニタリング結果

ベンゼン等の有害大気汚染物質については、26年度と同様にすべての調査地点で環境基準等を達成しました。

(1) 環境基準が定められている4物質

対象物質	調査地点数	達成地点数	環境基準達成率
ベンゼン	16	16	100%
トリクロロエチレン	15	15	100%
テトラクロロエチレン	15	15	100%
ジクロロメタン	15	15	100%

(2) 指針値が定められている9物質

対象物質	調査地点数	達成地点数	指針値達成率
アクリロニトリル	15	15	100%
塩化ビニルモノマー	15	15	100%
水銀及びその化合物	13	13	100%
ニッケル化合物	13	13	100%
クロロホルム	15	15	100%
1,2-ジクロロエタン	15	15	100%
1,3-ブタジエン	16	16	100%
ヒ素及びその化合物	13	13	100%
マンガン及びその化合物	13	13	100%

3 今後の対応

引き続き常時監視やモニタリングを行い、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例、自動車NOx・PM法、愛知県NOx・PM総合対策推進要綱、あいち自動車環境戦略2020等に基づき、工場、事業場などに対する固定発生源対策や自動車環境対策等の各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めていきます。

〔大気環境課 調査・監視グループ
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)〕

§2 公共用水域及び地下水の水質調査結果について

水質汚濁防止法第15条に基づき、愛知県は、国土交通省、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市及び豊田市とともに、県内の河川、湖沼、海域の公共用水域及び地下水の水質汚濁の状況を常時監視しています。

平成27年度の調査結果の概要は次のとおりです。

1 公共用水域の水質調査結果

(1) 健康項目

河川、湖沼、海域の139地点で調査した結果、138地点はすべての項目で環境基準を達成しましたが、1地点で1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しませんでした（26年度も同地点同項目で非達成）。

(2) 生活環境項目

河川の有機汚濁の代表的な指標である生物化学的酸素要求量(BOD)、湖沼及び海域の有機汚濁の代表的な指標である化学的酸素要求量(COD)、海域の富栄養化の代表的な指標である全窒素及び全リン、水生生物の保全に係る環境基準項目である全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)の調査結果について、環境基準の達成状況を評価しました。

達成率の長期的な推移をみると、河川のBODについては改善傾向にあり、湖沼のCOD、海域のCOD、全窒素及び全リンについては、概ね横ばいです。

【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

	調査項目		類型指定 水域数	環境基準 達成水域数*3	環境基準 達成率*3
	河川	BOD		49*1	48(49)
水生生物保全 環境基準		全亜鉛	42*1	38(33)	90%(79%)
		ノニルフェノール		42(42)	100%(100%)
		LAS		40(41)	95%(98%)
湖沼	COD		1	0(0)	0%(0%)
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	1	1(1)	100%(100%)
		ノニルフェノール		1(1)	100%(100%)
		LAS		1(1)	100%(100%)
海域	COD		11*2	7(5)	64%(45%)
	全窒素			5(6)	83%(100%)
	全リン			4(4)	67%(67%)
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	4*2	4(4)	100%(100%)
		ノニルフェノール		4(4)	100%(100%)
		LAS		4(4)	100%(100%)

*1 調査項目により数は異なりますが、対象河川は同一です。

*2 COD、全窒素及び全リンについては、三河湾を含む伊勢湾で、水生生物保全基準については、三河湾を除く伊勢湾です。

*3 ()内は26年度の値を示す。

2 地下水の水質調査結果

(1) 概況調査

県内の全体的な地下水質の概況を把握するため、メッシュ調査95地点、定点調査19地点の計114地点で調査した結果、メッシュ調査4地点、定点調査3地点の計7地点で環境基準を超過した項目がありました。そのうち新たに環境基準の超過が判明したメッシュ調査の4地点については、汚染井戸周辺地区調査を行うとともに井戸所有者に対する飲用指導を実施しました。

26年度は119地点で調査を実施、14地点で環境基準を超過しており、調査地点数に対する超過地点数の割合は11.8%から6.1%に推移しました。

(2) 定期モニタリング(継続監視)調査

過去の概況調査及び事業者からの報告等で地下水汚染が判明した地域の継続的な監視を行うため、167地点295本の井戸で調査を実施しました。その結果、105地点147本で環境基準を超過しました。

(3) 汚染井戸周辺地区調査

概況調査及び事業者からの報告等により地下水汚染のおそれがあると判断した23地点105本の井戸で、汚染範囲等の確認調査を行った結果、7地点12本で環境基準を超過しました。

【環境基準の超過地点数】

調査区分		調査地点数	環境基準 超過地点数
概況調査	メッシュ調査	95(95)	4(4)
	定点調査	19(19)	3(3)
定期モニタリング調査		167(295)	105(147)
汚染井戸周辺地区調査		23(105)	7(12)

* ()内は井戸の本数を示す。

3 今後の対応

引き続き常時監視を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

水地盤環境課 調査・計画グループ
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)
規制・土壌グループ
電話 052-954-6225 (ダイヤルイン)

§3 内分泌かく乱化学物質等調査結果について

愛知県は、魚類に対する内分泌かく乱作用が推察される物質等について、県内河川7地点及び海域3地点において、水質調査を実施しました。

平成27年度の調査結果の概要は次のとおりです。

1 調査結果の概要

(単位: $\mu\text{g/L}$)

調査対象物質	調査結果	過去5年以内の調査結果
ビスフェノールA	0.030	<0.01~0.02
フェニトロチオン	0.00012~0.011	0.000031~0.0072
ダイアジン	<0.001~0.004	<0.001~0.012
ジクロロホス	<0.0003~0.0057	<0.0003~0.0069
シアナジン	0.027~0.029	0.0005~0.11
2,4-ジニトロフェノール	<0.001~0.72	平成27年度から 調査実施
ヒドロキノン	0.0016~0.030	
エストロン	<0.00011~0.00076	
エストロン-3-硫酸	<0.00011~0.0011	
エストロン-3-グルクロン	<0.00011	

今回の調査結果は、継続調査対象物質については、いずれも過去5年以内の調査結果と比べて、特段高い値はありませんでした。

2 今後の対応

引き続き調査を実施していくとともに国等からの情報収集、科学的知見の集積に努めていきます。

【内分泌かく乱作用】

生物の生体内に取り込まれた場合に、生体内の正常なホルモン作用（内分泌作用）をかく乱し、生殖機能障害等を引き起こす作用

※調査対象物質ごとに、調査地点を定めています。用語、各物質における調査地点や検出状況等の詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/27horumon.html>)

環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

地盤沈下調査のための水準測量を実施します

愛知県では、毎年、国土交通省、名古屋市、名古屋港管理組合と連携し、地盤沈下の状況を把握するために水準測量を実施しています。

これは県内各地に設置している水準点の標高を観測するもので、地表面に直接標尺をあて、レベルと呼ばれる専用の機器で2地点の標尺の値から高低差を読み取り、標高を算出します。

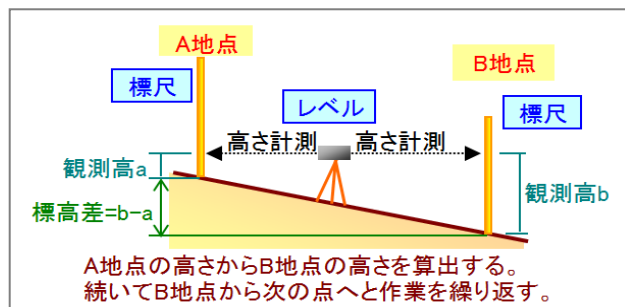
今年は、10月上旬から尾張地域と知多地域において、総延長約340kmの水準測量を行います。



水準点と水準点観測状況



水準測量実施状況



水準測量のイメージ

水地盤環境課 地盤沈下対策グループ
電話 052-954-6223/6224 (ダイヤルイン)

環境保全関係功労者表彰式を開催しました

愛知県では、6月6日(月)に、県内の環境保全に関し顕著な功績があった5団体と12名に対し、その功績をたたえるため、県本庁舎6階の正庁で表彰式を行いました。

受賞者には、大村知事から愛知県産の間伐材を使った表彰状等が手渡されました。

表彰の区分と受賞者一覧(敬称略)

環境保全活動功労(5団体)	
長年にわたり環境保全活動の推進に尽力し顕著な功績をあげた団体	
○犬山市エコアップリーダー 巨樹巨木調査グループ	
○大府市地域婦人団体連絡協議会 菜の花クラブ	
○おかげ自然体験の森・きこりの会	
○暮らしと環境を考える会「りさいくる21」	
○さがらの森もりクラブ	
環境保全推進功労(8名)	
長年にわたり愛知県の環境保全行政の推進に寄与し顕著な功績をあげた個人	
○鳥獣保護管理員	伊藤 良一
○同	加藤 壽則

○鳥獣保護管理員	前田 卓巳
○同	山本 鋭二
○地域環境保全委員	家田 鐵彦
○同	近藤 輝夫
○同	白井 久夫
○同	服部 和子

環境保全行政従事功労(3名)

長年にわたり環境保全行政に従事し顕著な功績をあげた個人

○尾三衛生組合職員	加藤 耕司
○豊橋市職員	久米 雅幸
○豊川市職員	吉浦 茂夫

環境衛生事業功労(1名)

長年にわたり環境衛生事業の推進に尽力し顕著な功績をあげた個人

○一般社団法人愛知県産業廃棄物協会監事	石川 信夫
---------------------	-------

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

まなびや もりの学舎 夏の特別イベントを実施します!

愛知県では、愛・地球博記念公園にある「もりの学舎」において、夏の特別イベントとして、親子で参加できる工作教室を開催します。

参加費は無料ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

1 開催日時

7月30日(土)、31日(日)

① ちびっこクラフト 10:30~11:50

② おやこクラフト 13:30~15:30

2 対象、募集人数及び内容

① ちびっこクラフト

幼児(3~6歳)とその保護者
各回20名程度(保護者1名につき幼児2名まで)

木の葉や木の枝を使って森
木で作ったカブトムシ
のいきものをつくります。



② おやこクラフト

小学生とその保護者
各回20名程度(保護者1名につき小学生2名まで。小学生未満の同伴は不可)

竹水てっぽうを作ります。



竹水てっぽうの
作成風景

3 開催場所及び申込・問合せ先

もりの学舎

電話:0561-61-2315 FAX:0561-61-2328

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000088089.html>)

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)



夏休み環境学習講座を開催します！



愛知県では、小学生以上を対象に、生きものに実際に触ったり、自然素材を利用した工作をしたりして、体験しながら環境について楽しく知ることができる「夏休み環境学習講座」を開催します。

参加費は無料で、先着順で予約を受け付けます。

夏休みの自由研究にぴったりですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

1 日程等

(1) もりの学舎^{まなびや}(長久手市 愛・地球博記念公園内)で開催

日時	講座名(講師)	定員
7月29日(金) 8月1日(月) 10:00~12:00	いきもの博士になろうシリーズ①(注) ～カフト・クワガタ編～ (講師:宮田 賢輔)	各 20名
7月29日(金) 8月1日(月) 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ②(注) ～秋の鳴く虫編～ (講師:宮田 賢輔)	各 20名
8月5日(金) 10:00~12:00 13:30~15:30	チョウの標本をつくろう (講師:高橋 匡司)	各 15名
8月10日(水) 10:00~12:00 13:30~15:30	りきさんの「森のお茶会」(講師:勢力 愛子)	各 20名
8月24日(水) 10:00~12:00 13:30~15:30	トンボの標本をつくろう (講師:高橋 匡司)	各 15名

(2) あいち環境学習プラザ(名古屋市中区)で開催

日時	講座名(講師)	定員
8月2日(火) 10:00~12:00 13:30~15:30	りきさんの「森の万華鏡をつくろう！」 (講師:勢力 愛子)	各 20名
8月3日(水) 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ③(注) ～磯の生物編～ (講師:宮田 賢輔)	各 20名
8月9日(火) 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ④(注) ～エビ・カニ編～ (講師:宮田 賢輔)	各 20名
8月15日(月) 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ⑤(注) ～淡水生物編～ (講師:宮田 賢輔)	各 20名
8月17日(水) 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ⑥(注) ～爬虫類・両生類編～ (講師:宮田 賢輔)	各 20名
8月18日(木) 10:00~12:00	チョコレートの来た道 (講師:名古屋をフェアトレード・タウンにしよう会 土井 ゆきこ)	20名
8月18日(木) 13:30~15:30	「はっぱ」を探ろう (講師:高島 裕美子)	20名
8月22日(月) 10:00~12:00 13:30~15:30	ミクロの森探検隊! (講師:愛知県職員 山内 喜朗)	各 15名

※ 講座は、天候などにより内容変更や中止になることがあります。

(注) いきもの博士になろうシリーズ①～⑥の5講座以上に参加の方には、素敵なプレゼントを差し上げます！

2 対象

小学生以上(原則、小学生は保護者同伴)

3 申込方法

参加を希望される講座ごとに、以下の①～④の内容を記載して、郵送、FAX、Eメールのいずれかにより、お申し込みください。申込用紙は、県のWebページからもダウンロードできます。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[kankyokatsudo/h28natuyasumi.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/h28natuyasumi.html))

- ①希望の講座名 ②希望の日時(午前または午後)
- ③代表者の氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス
- ④参加者全員の氏名(フリガナ)・年齢(小・中学生の方は学年)

4 申込期間

各講座開催日の3日前(必着)まで受け付けます。応募状況によっては、締切日以降も受付できる場合がありますので、お問い合わせください。

5 申込・問合せ先

愛知県環境部環境活動推進課

あいち環境学習プラザ

電話:052-972-9011 FAX:052-972-9013

Eメール: kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

6 その他

この講座は、いずれも参加者の中から抽選で記念品がもらえるAELネット環境学習スタンプラリーの対象講座です。

スタンプラリーの詳細はWebページをご覧ください。(http://aichi-eco.com/ael_stamprally)



トンボの標本をつくろう
(過去の講座の様子)



いきもの博士になろうシリーズ
～淡水生物編～
(過去の講座の様子)

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

「わが家の省エネ&CO₂ダイエット作戦」を実施しています

愛知県では、家庭部門における二酸化炭素(CO₂)削減のため、各家庭での省エネ・節電への取組を協賛企業と一緒に応援する「わが家の省エネ&CO₂ダイエット作戦」をWebサイトにて実施しています。

このWebサイトには、家庭での電気やガスの使用量を入力してCO₂排出量を調べる「CO₂排出量チェック(環境家計簿)」や、省エネメニューを実践すると動物などのキャラクターを集めることができる「動物ひろば」などがあり、楽しみながら省エネに取り組むことができます。

さらに、「CO₂排出量チェック」をした方の中から抽選で、協賛企業からのプレゼントが当たるキャンペーンも実施しています。

皆さんも、この機会にご家庭で省エネに取り組んでみませんか。

1 参加方法

- ① Webサイト (URL : <http://co2diet.info/>) にアクセス。「新規登録」をクリックし、Eメールアドレス、パスワードなどを入力
- ② キャンペーン期間中に、7~9月の3か月分の電気等の使用量を入力して「CO₂排出量チェック」
- ③ 賞品応募ページにて希望賞品を選んで応募

2 キャンペーン期間

7月1日(金)~10月20日(木)

3 応募条件

愛知県在住の方

4 協賛企業

(株)インフォミクス、(株)ドリーム、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、ミニストップ(株)、ユニー(株)、(株)ローソン

〔 大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン) 〕



連載

「愛知県の地球温暖化対策紹介」(2)

◎再生可能エネルギー等導入推進基金事業

愛知県は、国が実施している再生可能エネルギー等導入推進基金事業の採択を受け、平成26年度から平成28年度の3年間で15億円の補助金が交付されることとなり、平成26年10月に「再生可能エネルギー等導入推進基金」を創設しました。

この基金を活用し、地震や台風等による大規模な災害に備え、県内各地域の避難所などの施設に太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー発電設備や蓄電池などの導入を支援することによって、平常時の温室効果ガスの削減を図るとともに、災害時には避難所などの機能維持に必要な電力を確保します。

さらに、自治体だけではなく、地域の住民の方々や民間事業者が所有する電気自動車を移動式の電源として活用し、避難所に電力を供給するなど、災害時における官民一体となったエネルギー供給のネッ

トワーク化を目指していきます。

なお、平成28年度までに、34市町51施設に再生可能エネルギー発電設備を導入する予定です。



豊橋市・大清水地域福祉センター

(基金を活用し、太陽光発電、蓄電池、太陽熱温水器、高効率照明設備を平成27年度に導入しました。)

〔 大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン) 〕

国道23号通行ルール（名古屋南部地域）にご協力をお願いします

名古屋南部地域は、鉄鋼、金属、化学を中心とする工業地帯が広がっています。この地域を貫く国道23号では、交通量が10万台/日を超える箇所や大型車混入率が5割を超える箇所もあり、他の道路沿道に比べ大気汚染の濃度が高くなっています。

このため、平成26年9月から、国土交通省では、沿道環境の改善を図るため「国道23号通行ルール（名古屋南部地域）」を、関係機関（環境省、愛知県、

名古屋市、愛知県警及び愛知県トラック協会）とともに実施しています。

歩道寄りの車線は、沿道環境に配慮する車線「環境レーン」です。沿道環境改善のため、「大型車の中央寄り走行」にご協力をお願いします。

＜対象車種＞大型車

＜実施区間＞国道23号（名古屋南部地域）

緑区大高町（名古屋南インター交差点）～
海部郡飛島村（梅之郷交差点）（約16km）



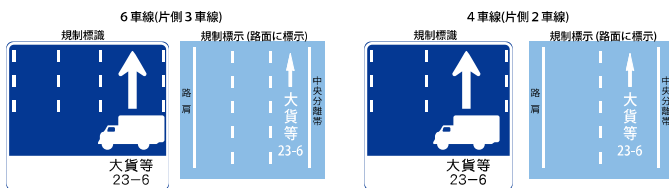
「国道23号通行ルール（名古屋南部地域）」の実施区間

＜道路交通法による夜間通行帯規制＞

- ・ 夜間（23時～翌朝6時）は、大型車は最も中央寄りの通行帯を通行しなくてはなりません。

6車線（片側3車線）

4車線（片側2車線）



＜沿道環境に配慮した走行のお願い＞

- ・ 6時から23時における大型車の中央寄り走行（沿道の騒音や大気汚染が低減されます。）

- ・ 「ふんわりアクセルでゆっくり発進」などのエコドライブ（排出ガスを抑えたり燃料の消費も節約できます。）
- ・ 自動車NOx・PM法車種規制非適合車の不使用（窒素酸化物(NOx)、粒子状物質(PM)の排出抑制のため、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づいて協力をお願いしています。)

大気環境課地球温暖化対策室

自動車環境グループ

電話 052-954-6217（ダイヤルイン）

建設部 道路建設課

企画・環境対策グループ

電話 052-954-6541（ダイヤルイン）

「第3回三河湾大感謝祭」を開催します！



愛知県では、多くの人々に三河湾に関心を持っていただくことを目的に、「海フェスタ東三河」とタイアップして、第3回三河湾感謝祭を開催します。

今回は、大村知事とタレントの田中律子さんによる海をテーマとしたトークショー、昨年6月に設立した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」が開催するシンポジウムのほか、アサリ汁のふるまい等の楽しい企画をたくさん用意しております。

皆さんの参加をお待ちしておりますので、是非、お越しください。

1 開催概要

(1) 日時

7月23日(土) 10:00～17:00

(2) 場所

ライフポートとよはし

豊橋市神野ふ頭町3番地の22

(3) 内容

- 開催セレモニー及び大村知事と田中律子さんのトークショー (13:30～14:30)

- 三河湾環境再生パートナーシップ・クラブのシンポジウム
- アサリ汁のふるまい、アサリのつかみ取り等アサリに関する企画
- 海の生きものの展示、海の生きものロボットの実演
- 三河湾環境クイズ大会、ビンゴ大会
- 海の幸の出店
- 参加型ブースの出展、クイズラリー
- 三河湾フォトコンテスト 等

2 開催セレモニー及びトークショーの申込みについて

(1) 定員

1,000名(7月14日(木)までを事前申込み期間とし、この期間に申込みいただいた方には、先着順で席を用意し、整理券を発行させていただきます。)

(2) 事前申込みの方法

所定の参加申込書によりEメールまたはFAXで申し込んでください。(Eメールの場合は、件名を『三河湾申込み』としてください。)

・ 申込先

水地盤環境課 三河湾環境再生グループ

Eメール： mizu@pref.aichi.lg.jp

FAX： 052-961-4025

- チラシ(参加申込書)は、県のWebページからダウンロードできます。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/28mikawawan-kansyasai.html>)

- 事前申込みの際に発行した整理券と引き替えに記念品をお渡しします。

3 その他

ライフポートとよはしまでは、豊橋駅から海フェスタ東三河実行委員会が運行するシャトルバス(無料・直通)をご利用ください。

〔水地盤環境課 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)〕

「三河湾環境再生体験会」の参加者を募集します！

多くの生物が生息する干潟は、優れた水質浄化機能を持っており、里海再生において重要な役割を担っています。

愛知県では、干潟の保全活動体験や、干潟の生きものの採取・観察・調査を通じて、干潟を始めとした海域環境の保全に関する意識向上を目的として、「三河湾環境再生体験会」を開催します。

多くの方のご参加をお待ちしております。

1 開催日時

8月20日(土) 10:30~15:00 (予定)

2 開催場所

東幡豆海岸及び前島 (西尾市東幡豆町)

3 開催内容

- ・ 干潟の保全活動体験
- ・ 干潟についての講座
- ・ 干潟での生きものの採取・観察

- ・ 焼き大アサリや貝汁の試食

4 募集定員

40名程度 (応募者多数の場合は抽選)

5 募集対象

4歳以上 (小学生以下の参加は保護者が必ず同伴)

※小学生未満のお子さんは「干潟の保全活動体験」の一部ができない場合があります。

6 申込方法

必要事項をご記載の上、8月1日(月)までにEメール又はFAXでお申込みください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/28mikawa-taikenkai.html>)

(水地盤環境課 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン))

油ヶ淵浄化デーの一斉清掃活動にご参加ください！

碧南市と安城市の境にある愛知県唯一の天然湖沼「油ヶ淵」は、周辺の都市化の進展や閉鎖性水域であることなどから、全国的に見ても水質汚濁が進んだ湖沼の一つとなっています。

近年は改善の傾向が見られますが、昨年度のCOD(化学的酸素要求量)75%値は7.2mg/Lであり、環境基準の5mg/Lを達成していないため、今後も水質浄化の取組を推進する必要があります。

油ヶ淵周辺の碧南市、安城市、西尾市及び高浜市の4市は、水質浄化に向けた地域ぐるみの気運を盛り上げていくため、毎年7月第4日曜日の「油ヶ淵浄化デー」に合わせて、油ヶ淵や流入する河川の周辺の一斉清掃活動等を実施しています。

今年度、西尾市は7月17日(日)、その他3市は7月24日(日)に実施しますので、是非ご参加ください。

なお、昨年度は、4市合計4,578名もの皆さんが参加し、1,730kgのゴミを回収しました。

また、この清掃活動等を通じて、永年にわたり地域の水環境保全に貢献された団体等に対して、活動実施日に油ヶ淵水質浄化促進協議会(構成:愛知県、油ヶ淵周辺4市)から感謝状を贈呈する予定です。

より多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/28jyoukaday.html>)



昨年度の清掃活動の様子



昨年度の感謝状贈呈の様子

(水地盤環境課 調整・生活排水グループ
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン))

「ごみ散乱防止キャンペーン」を実施しました

愛知県では、毎年「530（ごみゼロ）の日」である5月30日から6月5日までの1週間、ごみの散乱防止を訴える「ごみ散乱防止キャンペーン」を実施しています。今年も例年どおり、街頭啓発活動や清掃活動等を実施しました。街頭啓発活動では啓発資材を約3,000名に配布し、清掃活動には県職員約120名が参加しました。

＜街頭啓発活動＞

金山総合駅ほか県内主要駅8か所において、関係団体の協力を得て、啓発資材（ポケットティッシュ、ボールペン）を配布し、ごみのポイ捨て防止等を呼びかけました。

また、県内の市町村においても、各地でごみ散乱防止にちなんだイベント、清掃活動、啓発活動等が実施されました。

＜清掃活動＞

キャンペーンの一環として「530（ごみゼロ）の日」の昼休みに県庁舎周辺において、県職員等で清掃活動を実施しました（約360リットルのごみを収集）。



県庁周辺の清掃活動の様子

（資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン））

豊川大気汚染測定局を一般公開しました “愛知水と緑の公社”

豊川市民まつり「おいでん祭」（5月21、22日）に、愛知県の大気汚染測定局の保守管理を受託している当公社も参加し、県民の皆さんに業務内容等を知っていただくため、次の啓発活動を行いました。

1 環境コーナーへの出展

主会場に設けられた豊川市淡水魚水族館ぎょぎょランドと東三河総局との合同ブースに、大気汚染測定局に関するパネルや微小粒子状物質（PM2.5）関係資料等を展示し、来場者に説明を行いました。



環境コーナーの様子

2 大気汚染測定局の公開

豊川市役所に設置した大気汚染測定局を公開し、大気汚染常時監視の重要性や測定機器の概要を説明しました。

測定局には子供連れの家族など約150名が来場し、多くの皆さんが関心をお持ちのPM2.5や光化学オキシダント等の測定機器を、興味を持って見学されていました。



測定局内の説明状況

（公財）愛知水と緑の公社 環境部
電話 0532-39-7865（ダイヤルイン）

連載 「愛知県内の環境学習施設へ遊びに行こう！」(2)



～はじめよう環境学習！「あいち環境学習プラザ」～



交流コーナー



展示コーナー

「あいち環境学習プラザ」は、愛知県東大手庁舎1階にある環境学習施設です。実験室、セミナー室、交流コーナー、展示コーナーがあり、環境学習講座、環境学習相談、環境学習に関するビデオや機材の貸し出し、資料の展示などを行っています。

いずれも無料でご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせ、お立ち寄りください。

1 環境学習講座の概要

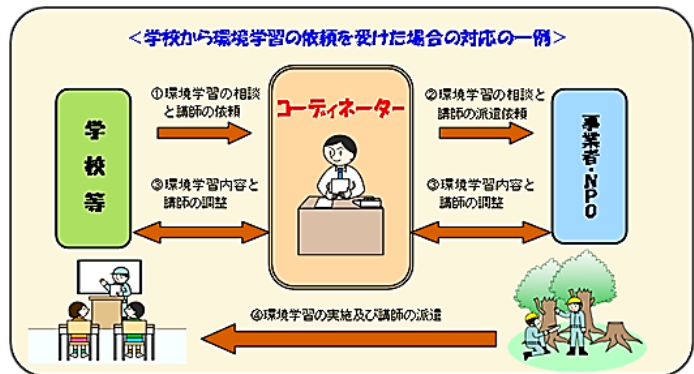
小中学生向けに、二酸化炭素(CO₂)の濃度を測定し地球温暖化について考える講座や、水のごみを調べ生活排水について考える講座など、簡単な実験を取り入れた体験型の環境学習講座を行っています。受講された方からは、「普段できない実験ができて楽しかった」などの感想をいただいています。

学校等への出前講座も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

また夏休みには、自由研究にもピッタリな「夏休み環境学習講座」(詳細はP.6をご覧ください)を行いますので、是非ご参加ください。

2 環境学習相談の概要

環境学習を受けたい方と、環境学習を提供できる方の橋渡し役を担う「環境学習コーディネーター」を設置し、県民、企業、NPO、行政、学校等の各主体が連携・協働した環境学習を実施できるよう推進しています。学習内容や実施方法、講師、教材、活動場所など、環境学習に関する困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。



3 問合せ先

〒460-0001

名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎

電話：052-972-9011 FAX:052-972-9013

開館時間：9:00～17:00

休館日：土曜日、日曜日、祝日及び年末年始

Web ページ：

(<http://kankyo-gakushu-plaza.pref.aichi.jp/plaza/>)



環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成28年7月4日発行(第242号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

いよいよ暑い夏がやってきます。緑のカーテンが活躍する季節になりましたね。夏にエアコンを使わずに涼しく過ごす個人的ランキングは、1 森林浴、2 スケートボードで風を切る、3 ホラー映画を見る です。

今年も森林浴ついでに近場の森に行き、生き物を探しに行こうと思います。みなさんも、生き物いっぱい夏の森を探検してみてください。涼しいですよ！
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。